

SEP テクニカルレポート

＜本書について＞
本書は、SEP (Smart Embedded Platform) における既知の不具合、およびその回避方法・発生時の対処方法について記載したものです。
ご不明点や詳細については、右記ILCテクニカルセンターまでお問い合わせください。

お問い合わせ先
株式会社アイ・エル・シー
ILCテクニカルセンター

TEL : 082-262-7799
FAX : 082-263-4411
E-mail : fa@ilc.co.jp

更新日 : 2026/8/21

管理番号	対象機能	発生バージョン	現象	発生条件/手順	回避/対処方法	影響/注意点	修正Ver.
U10-001	リモートObjectのイベント送信機能	Ver.2.10.000	ChallengeResponseまたはDynamicCipherを有効にしたとき、SEP Ver.2.00以前のバージョンのSEPへのイベント通知に失敗する	ChallengeResponseまたはDynamicCipherを有効にし、SEP Ver.2.00以前のSEPとの間でイベント通知を行う	【回避方法】 SEP Ver.2.00以前のSEPに対してイベント通知を行う場合、ChallengeResponse、DynamicCipherを無効にする	SEP Ver.2.00以前のSEPに対してイベント通知を行う場合、SEPイベントが通知されない。	2.10.001
U10-002	動的鍵交換機能	Ver.2.10.000	動的鍵交換機能 (DynamicCipher) を有効にした場合にRACに失敗することがある。	1. RACを1秒間隔で3回以上繰り返す 2. SessionTimeoutの設定値以上の時間待った後、再度RACを行う 3. 1,2を繰り返し実行する	【回避方法】 DynamicCipherを無効にする、またはSessionTimeoutの設定値を変更する。	本現象が発生すると、SEP通信に失敗する。	2.11.001
U10-003	VIO-Linksポーティングサンプル	Ver.2.10.000	Linux環境のSEPアプリケーションでアプリケーションが強制終了することがある。	Linux環境でRACとイベント通知を繰り返し実行する	【回避方法】 SessionTimeoutの設定値を変更する。	本現象が発生すると、SEPアプリケーションが終了し、SEP通信を継続できない。	2.11.004
U10-004	VIO-Linksポーティングサンプル	Ver.2.10.000	TCP通信において、ポートスキャン等によりSEPプロトコルに準拠しない通信データを受信した場合、その後の正常なSEP通信を処理できなくなる可能性がある。	SEPがTCPで待ち受けているポートに対して、SEPプロトコルに準拠しないデータが送信された場合に発生する可能性がある。	【回避方法】 SEP待受ポートに対して、SEPプロトコルに準拠しない通信データを送信しない。現象が発生した場合はSEPを使用するアプリケーションを再起動する。	本現象が発生すると、新たなSEP通信を正常に処理できない。通常のSEP通信のみを行っている場合には発生しない。	2.11.004
U10-005	Name解決機能 時刻同期機能	Ver.2.10.000	ブロードキャストで名前解決した相手との時刻同期が行われない。	ブロードキャストによる名前解決を行ったObjectに対して、メソッド呼出しを行う。	【回避方法】 ネットワーク設定ファイルに時刻同期を行う相手の名前情報を設定する。	本現象が発生すると、通信相手との時刻同期が成立せず、時刻にずれが生じる可能性がある。	2.11.004